

佐賀バルーン ミュージアム開館

バルーン(熱気球)をテーマにした
日本初のミュージアムが誕生しました。

平

平成28年(2016)10月28日から11月6日の10日間、佐賀市で「2016 佐賀熱気球世界選手権」が開催されました。世界のトップパイロットによる熱い競技が繰り広げられ、多くの観客を魅了しました。佐賀市はその開幕に先立ち、松原に「佐賀バルーンミュージアム」を10月1日にオープンさせました。大空に浮かぶ色とりどりのバルーンを実際に眺めているような感覚で楽しめるスーパーハイビジョンシアターや、バルーンパイロットの疑似体験ができるフライトシミュレーターなど、天候に左右されず、いつでもバルーンを体感できる施設として整備されました。

また、ミュージアムの駐車場の一角には「旧嬉野家の武家屋敷の門(やくいもん) (薬医門1棟)」が残されています。正確な建築年代は判明していないものの、上級武家屋敷の配置形式を伝える重要なものとして、平成27年(2015)6月に佐賀市重要文化財に指定されました。その後、一度解体し、保存修理を行ったうえで平成28年、やや東側の現在地に建て直されました。



佐賀バルーンミュージアム



旧嬉野家の武家屋敷の門(薬医門1棟)